

審美修復治療において真に患者さんの満足を得るために、また咬合崩壊に至った症例において確実にメインテナンスできる環境に導くためには、全顎的な咬合再構成を伴う治療計画が要求される。数年前までに一般的であったコンセプトでは、多数のPFMクラウンが必要となったために、多くの歯牙が全周的に支台歯形成されることが必要であった。それは患者の貴重な健全歯質の削除を強いることや、高額化する治療費などの面で患者さんにとっても大きな負担となり、治療へ移行する際のネックとなっていたように思う。

ところが、ここ数年で確立されたボンディング・レストレーションという新しいコンセプトのもと、ミニマル・インターベンションの概念に沿った最小限の侵襲で咬合再構成を実践することが可能となりつつある。

さらに近年めざましい発展を遂げるインプラントとその適応症の拡大という武器を組み合わせることにより、より確実な治療計画と安定した予後を得られることができるようになった。

本コースでは多くの講義、臨床ビデオ、実習を組み合わせ、アプローチ方法から診査診断、治療計画の立案、実際の手技を5ヶ月間で習得していただきたい。

有吉 洋



■講師：有吉 洋(熊本市開業) ■定員：10名

■対象：有吉洋を講師とするベーシックコース受講済みの歯科医師

■費用：390,000円(5ヶ月間 消費税含む)

資料代・弁当代・豚下顎、弁当代、メス替刃、針付縫合糸など含む
ただし、ダイヤモンドバーは別途ご持参またはお買い求めください。

■歯科技工士同伴について

コースを通じて受講生のパートナー歯科技工士の聴講が可能です。
土日5ヶ月間で実費として25,000円となります。ご相談ください。

■内容とスケジュール： 土曜日15:00～19:00、日曜日09:30～16:00

回	月日	内容
1	2007/10/27,28	診査診断と咬合の実際・下顎位の設定・診断用ワックス
2	2007/11/24,25	審美修復治療の臨床的基準・MIに基づく治療計画とマテリアルの選択基準 (WU下6)
3	2008/01,26/27	インプラント適応症の拡大と各種システムの選択基準・埋入と歯周外科実習(豚実習)
4	2008/02/23,24	ダイレクトレストレーション・シェードテイク・ビルドアップ プロビジョナルレストレーションの調整(WU上1,上3)
5	2008/03/22,23	オールセラミクス・ラミネートベニアの形成と印象・装着とメンテナンス(WU上6)

■主催：有限会社アワデント

熊本市小峯1丁目1-95 TEL 096-331-0567 fax096-331-0577
taka@ourdent.com (担当：粟津) 090-3328-9989

振込先：肥後銀行田中町支店 1 2 2 5 6 8

有限会社アワデント 取締役 粟津貴昭

下記空欄ご記入のうえ上記へFAXくださり、申込金40,000円を左記口座へお振り込みください。
その時点で申込み成立とします(先着順です)
残金(350,000円)は開始日までにお振り込みください。

氏名		連絡先	
医院名		同伴技 工士名	